



## 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月6日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8158 URL <https://www.sodanikka.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 目崎 龍二  
問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員経理本部長(氏名) 岩渕 修 (TEL) 03-3245-1803  
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月9日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	32,935	3.7	1,187	4.7	1,424	8.8	1,205	△9.0
2025年3月期中間期	31,749	0.7	1,134	9.3	1,309	4.2	1,324	52.9

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 2,428百万円(516.7%) 2025年3月期中間期 393百万円(△81.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	52.91	—
2025年3月期中間期	58.30	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	75,874	31,491	41.5
2025年3月期	73,200	29,535	40.3

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 31,491百万円 2025年3月期 29,535百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	17.00	—	23.00	40.00
2026年3月期	—	20.00			
2026年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	8.2	2,340	10.9	2,670	7.8	2,300	4.8	101.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	22,968,000株	2025年3月期	22,968,000株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	144,340株	2025年3月期	197,880株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	22,781,780株	2025年3月期中間期	22,727,411株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調なインバウンド需要を背景とするサービス関連消費等が下支えとなり、非製造業を中心に好調な景況感がみられ、緩やかな回復基調となりました。一方で、米国の関税政策の輸出への影響や、国内物価上昇の長期化等、依然として景気の下押しリスクに注意を要する状況が続きました。

当社グループに関係の深い化学産業を中心とする国内製造業につきましては、米国関税引き上げの影響を受け、自動車工業や半導体製造装置を中心とした機械関連業種において、生産活動が弱い動きとなりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては中期経営計画「Go forward STAGE3」の3年目にあたる事業年度として、既存投資設備の稼働率向上や物流機能強化に向けた施策等、企業価値向上に向け、外部環境変化に即した取組みを推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 32,935百万円（前年同期比 3.7%増）、営業利益 1,187百万円（同 4.7%増）、経常利益 1,424百万円（同 8.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益 1,205百万円（同 9.0%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。また、各セグメントに属する商品群及び主な構成要素を以下表に記載いたします。

表：各セグメントに属する商品群及び主な構成要素

セグメント	商品群等	主な構成要素
化学品事業	ソーダ関連薬品	か性ソーダ、塩酸等のソーダ工業に関する薬品
	その他の無機薬品	硫酸、アンモニア等のソーダ関連薬品以外の各種無機薬品
	有機薬品	溶剤、界面活性剤等の各種有機薬品
	その他	キレート剤、グラウト材料等、上記に属さない化学薬品
機能材事業	包装関連商品	フィルム、容器、包装関連機器等の包装に関連する各種商品
	合成樹脂関連商品	樹脂原料、添加剤、成型品等の合成樹脂に関する各種商品
	設備・工事・産業材料	汎用機械、生産用機械等の各種設備、付帯工事及びエレクトロニクス、建築向け等の産業材料
	その他	雑貨品等、上記に属さない工業用資材等
その他事業	連結子会社8社	ソーダニッカビジネスサポート(株)、曹達日化商貿(上海)有限公司、PT. SODA NIKKA INDONESIA、(株)日本包装、SODA NIKKA VIETNAM CO.,LTD.、モリス(株)、(株)日進、(株)野津商店
	賃貸収入	保有動産・不動産等の賃貸による収入

### 【化学品事業】

売上高は前年同期に比べ4.2%増の22,059百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ5.1%増の1,887百万円となりました。セグメント利益への影響を基準とした、商品群別の取引推移等は以下のとおりであります。

ソーダ関連薬品は堅調に推移いたしました。主力のか性ソーダは、エレクトロニクス業界向けは取引増加となった一方で、化学業界向けは取引減少となりました。塩酸はエレクトロニクス業界向けが好調につき、また塩素酸ソーダは新規案件の受注により、取引増加となりました。

その他の無機薬品は堅調に推移いたしました。アルミニウム化合物は自治体向け水質処理剤の新規受注等により取引増加となりました。また鉄化合物は一時的な需要の増加もあり取引増加となりました。

有機薬品は好調に推移いたしました。製紙用塗工剤が特需の発生やシェア拡大等により取引増加となりました。

その他の商品群では、トイレタリー関連商品が日用品やペット用品向けの受注好調により取引増加となりました。

### 【機能材事業】

売上高は前年同期に比べ6.0%増の6,985百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ2.3%増の410百万円となりました。セグメント利益への影響を基準とした、商品群別の取引推移等は以下のとおりであります。

包装関連商品は堅調に推移いたしました。包装関連機器が海外向け案件の受注により取引増加となりました。複合フィルムは食品包装向けの販売好調により取引増加となりました。一方、ナイロンフィルムは中国向け需要の減少により取引減少となりました。

合成樹脂関連商品は前年度並みに推移いたしました。工業用製品は工作機械用部品の受注伸長により取引増加となりましたが、ガラス短繊維は輸送機器用途での案件減少に伴い取引減少となりました。

設備・工事・産業材料は堅調に推移いたしました。排ガス処理装置は受注増加となりましたが、回転機器は取引減少となりました。

### 【その他事業】

売上高は前年同期に比べ2.4%減の3,891百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ16.7%増の123百万円となりました。セグメント利益への影響を基準とした取引推移等は以下のとおりであります。

国内連結子会社であるモリス株式会社において縫製雑貨の取引が好調に推移したこと等により、増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ2,674百万円増加となりました。

増減の主なものは資産の部では、現金及び預金が946百万円、投資有価証券が1,802百万円それぞれ増加となりました。負債の部では、短期借入金が496百万円、繰延税金負債が584百万円それぞれ増加となりました。純資産の部では、利益剰余金が677百万円、その他有価証券評価差額金が1,283百万円それぞれ増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日付公表の数値に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,231	8,177
受取手形、売掛金及び契約資産	41,608	41,677
商品及び製品	1,442	1,499
その他	1,011	894
貸倒引当金	△45	△80
流動資産合計	51,247	52,168
固定資産		
有形固定資産	7,135	6,982
無形固定資産	263	351
投資その他の資産		
投資有価証券	13,794	15,597
破産更生債権等	19	8
その他	750	776
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	14,553	16,371
固定資産合計	21,952	23,706
資産合計	73,200	75,874

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,351	33,215
短期借入金	3,165	3,661
未払法人税等	773	609
契約負債	677	843
引当金	599	475
その他	824	707
流動負債合計	39,390	39,512
固定負債		
繰延税金負債	2,169	2,753
退職給付に係る負債	1,057	1,055
その他	1,047	1,061
固定負債合計	4,274	4,870
負債合計	43,664	44,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,116	3,116
利益剰余金	16,203	16,880
自己株式	△202	△146
株主資本合計	22,880	23,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,211	7,495
繰延ヘッジ損益	△1	0
土地再評価差額金	195	195
為替換算調整勘定	181	124
退職給付に係る調整累計額	67	63
その他の包括利益累計額合計	6,655	7,878
純資産合計	29,535	31,491
負債純資産合計	73,200	75,874

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	31,749	32,935
売上原価	27,332	28,221
売上総利益	4,416	4,714
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	578	614
給料及び手当	1,039	1,012
賞与引当金繰入額	320	368
役員賞与引当金繰入額	18	15
役員株式給付引当金繰入額	44	29
退職給付費用	49	47
その他	1,233	1,439
販売費及び一般管理費合計	3,282	3,526
営業利益	1,134	1,187
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	227	251
その他	19	22
営業外収益合計	250	277
営業外費用		
支払利息	22	23
為替差損	30	7
シンジケートローン手数料	7	7
その他	14	2
営業外費用合計	74	41
経常利益	1,309	1,424
特別利益		
投資有価証券売却益	650	415
特別利益合計	650	415
特別損失		
固定資産除売却損	—	16
特別損失合計	—	16
税金等調整前中間純利益	1,959	1,823
法人税、住民税及び事業税	642	600
法人税等調整額	△7	17
法人税等合計	634	617
中間純利益	1,324	1,205
親会社株主に帰属する中間純利益	1,324	1,205



## 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,324	1,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,002	1,283
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	71	△57
退職給付に係る調整額	△0	△4
その他の包括利益合計	△931	1,223
中間包括利益	393	2,428
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	393	2,428

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,959	1,823
減価償却費	118	272
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	35
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14	△8
受取利息及び受取配当金	△230	△255
支払利息	22	23
シンジケートローン手数料	7	7
固定資産除売却損益(△は益)	7	15
売上債権の増減額(△は増加)	4,192	△85
棚卸資産の増減額(△は増加)	△58	△64
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△30	10
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,145	△129
投資有価証券売却損益(△は益)	△650	△415
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	△22
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	44	29
その他	△125	135
小計	1,094	1,372
利息及び配当金の受取額	226	256
利息の支払額	△27	△31
法人税等の支払額	△485	△763
営業活動によるキャッシュ・フロー	809	834
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△13	△4
定期預金の払戻による収入	14	84
有形固定資産の取得による支出	△1,480	△115
無形固定資産の取得による支出	△120	△103
投資有価証券の取得による支出	△16	△16
投資有価証券の売却による収入	825	485
会員権の取得による支出	—	△37
その他	16	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△774	288
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	25,500	500
短期借入金の返済による支出	△26,504	△4
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△480	△527
シンジケートローン手数料の支払額	△7	△6
その他	△16	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,509	△37
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	△59
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,441	1,026
現金及び現金同等物の期首残高	9,554	7,090
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,113	8,116

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	中間連結損益計算 書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	21,171	6,591	3,986	31,749	—	31,749
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65	599	645	1,310	△1,310	—
計	21,236	7,191	4,632	33,060	△1,310	31,749
セグメント利益	1,795	401	105	2,302	△1,168	1,134

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,168百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	中間連結損益計算 書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	22,059	6,985	3,891	32,935	—	32,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	505	694	1,256	△1,256	—
計	22,116	7,490	4,585	34,192	△1,256	32,935
セグメント利益	1,887	410	123	2,422	△1,234	1,187

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,234百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。